

志々目愛さん (H24年卒) が宮崎日日新聞に掲載されました

11月29日(水)柔道グランドスラム東京大会に出場する、志々目愛さんの記事が掲載されました。志々目愛さんは8月にハンガリーで行われた世界選手権で優勝し、今大会の優勝候補に挙げられています。2020年に行われる東京オリンピック出場に向けても、大事な大会になります。皆さんのご声援よろしくお祈りします。



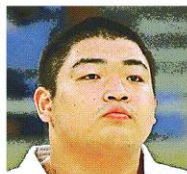
大野 将平

2、3日 柔道GS東京大会

志々目愛(日大) V 狙う



橋本 壮市



王子谷剛志



志々目 愛



阿部 詩

大野(旭成)強さ示せるか

(旭成)と世界王者の橋本壮市(パーク24)が五輪後初の国際大会となる大野は圧倒的強さを示せるか。橋本は最大のライバルに勝ち、存在感を高めた。男子100kg級は世界王者ウルフ・アロン(東海大)が欠ける。

(旭成)と2位の角田夏実(了徳寺学園)を進展著しい17歳の阿部詩(兵庫・夙川学院高)が追いつく。48kg級は世界女王の渡名喜風南(帝京大)がライバルに勝ち、存在感を高めた。男子100kg級は世界王者ウルフ・アロン(東海大)が欠ける。

柔道のグランドスラム東京大会は12月2、3日に東京体育館で男女各7階級が行われる。日本勢はことしの世界選手権覇者が優勝すれば、来年の代表に内定する。最も注目を集めるのが男子73kg級で、リオデジャネイロ五輪金メダルの大野将平(了徳寺学園)が欠ける。

女子52kg級は世界選手権を制した志々目愛(了徳寺学園)が欠ける。講道館杯初制覇で勢いに乗る19歳の飯田健太郎(国士館大)が上位をうかがう。66kg級では豪快な投げ技で世界の頂点に立った阿部一二三(日体大)がどう勝ち抜くか。

女子52kg級は世界選手権を制した志々目愛(了徳寺学園)が欠ける。講道館杯を制した志々目愛(了徳寺学園)が欠ける。

た21歳の小川雄勢(明大)に期待がかかる。県勢はほかに、男子が60kg級の志々目徹(了徳寺学園)が欠ける。宮崎日大高を4年ぶりに制した丸山城志郎(ミキハウス、宮崎市出身)と磯田範仁(国士館大、延岡市出身)、90kg級の小林悠輔(旭成)が出場。100kg級の羽賀龍之介(同)は負傷のため欠場する。女子は48kg級の森崎由理江(宮崎大教)が出場する。

日本勢は男子60kg級の高藤直寿(パーク24)、女子70kg級の新井千鶴(三井住友海上)ら、世界選手権優勝者6人がエントリーした。女子78kg級の朝比奈沙羅(東海大)同57kg級の芳田司(コマツ)は同選手権2位からの巻き返しを狙う。世界選手権で日本勢が惨敗した男子100kg級で五輪2連覇中のデニス・リネル(フランス)は出場しない。全日本王者の王子谷剛志(旭成)、講道館杯を制した

11月29日(水) 宮崎日日新聞 掲載